

経営比較分析表

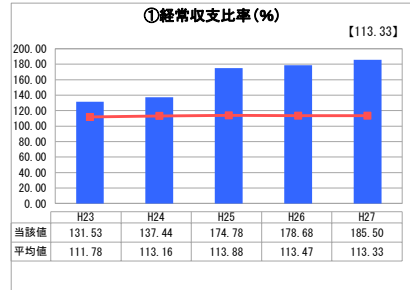
岡山県 岡山県西南水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	用水供給事業	B
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.00	97.24	0

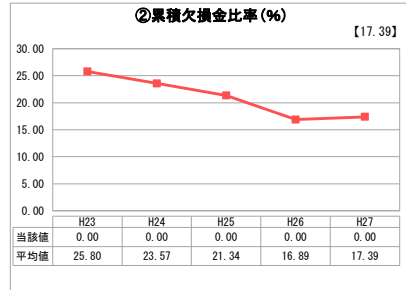
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
83,182	184.00	452.08

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

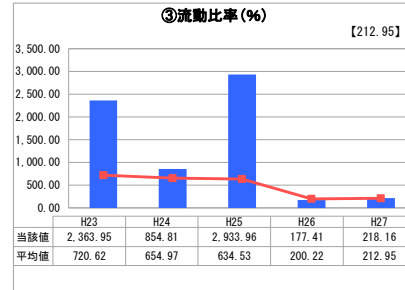
1. 経営の健全性・効率性



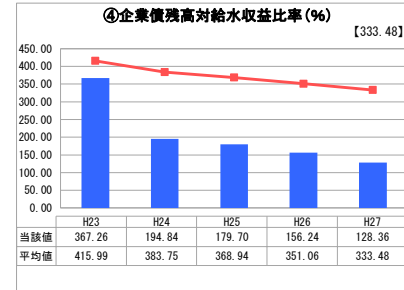
「経常損益」



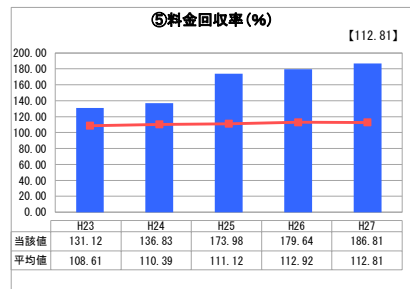
「累積欠損」



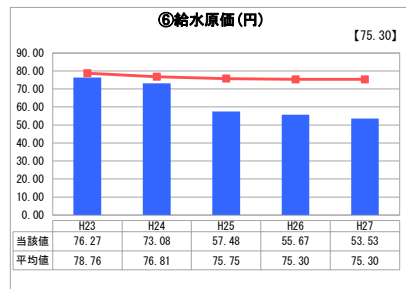
「支払能力」



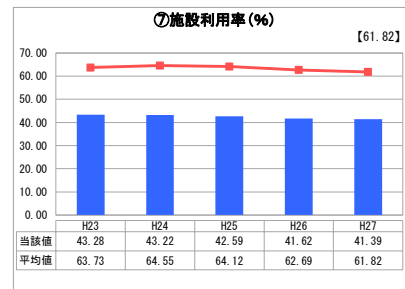
「債務残高」



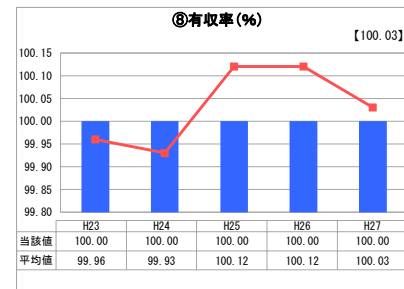
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

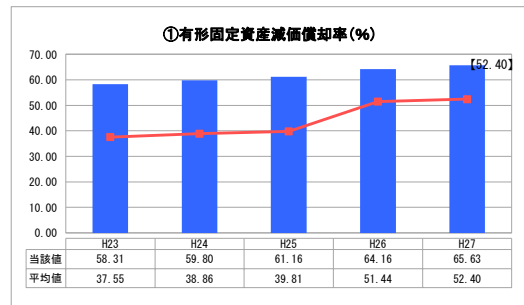


「施設の効率性」

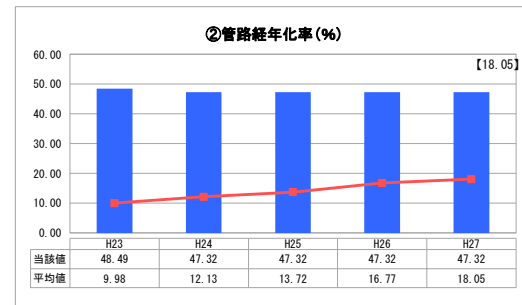


「供給した配水量の効率性」

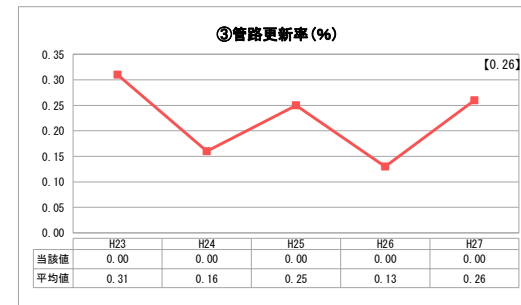
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析稿

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率⑥料金回収率については、平均値より大きく良い値となっています。H23年度からH27年度において、給水収益は0.3~2.4%の減少傾向にあることに留意しながら、引き続き、将来の施設更新財源について適切な確保に努めます。

②累積欠損金比率については、欠損金がないため、値なしとなっています。引き続き、永続的に安定した健全な経営に努めます。

③流動比率については、前年度より改善となっています。さらには、企業債等償還額が平成28年度から減少に転じたため、今後、単年度支払能力である同比率は改善傾向となると分析しています。

④企業債残高対給水収益比率については、平均より良い値、⑥給水原価については、平均より低い値となっています。給水収益が減少傾向にあることに留意しながら、収益に対する最適な規模の設備投資と、適切な費用の執行に努めます。

⑦施設利用率については、平均より悪い値となっています。これは、予定されていた計画水量に応じた施設規模に対して、施設稼働率が低いことによるものです。水道事業の性質上、夏季の最大稼働率も考慮しながら、将来の水需要推計に留意し、施設更新時に最適な規模の設備投資に抑制することに努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、平均より老朽化が進んでいる値となっています。これは、資産のうち2つの浄水場（築造S47年、H3年）内の機械及び装置等について、更新でなく修繕による長寿命化にて対応していること等によるものです。このことから、更新に比較し費用は抑制されている効果が表れている一方、長寿命化にも限界があるため、更新についても、施設総合管理（インフラ長寿命化）計画策定の中で検討に努めます。

②管路経年化率については、平均より老朽化が進んでいる値、③管路更新率については、値なしとなっています。これは、過去の管路網整備の投資時期が集中していることにより、H23年度にて法定耐用年数を超えた管路が増加したことによるものです。今後の管路更新については、将来の水需要推計に留意し、地盤等にも考慮しながら、施設総合管理計画策定の中で検討に努めます。

全体総括

この「経営比較分析表」の結果を考慮しながら、私ども岡山県西南水道企業団は、平成30年度までに「岡山県西南水道企業団経営戦略」を策定することで、永続的に安定した公営企業運営を可能とすることに努めます。また、キャッシュ・フロー等の財務指標の値に留意しながら、最適な規模の水道施設を着実に整備し、経営環境の変化に適切に対応していくことに努めます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。